

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
 全労協・郵政産業労働者
 ユニオン長崎中郵支部
 機関紙「みらい」
 NO. 3880
 18年8月15日(火)
 Fax 095-828-1953

第22回 8・8平和長崎集会

おはようございます。
 今日は73回目の終戦記念日です。8月6日の広島への原爆投下、9日の長崎への原爆投下後も、15日まで空襲や激しい戦闘が行われ多くの命が失われました。二度と戦争への道を歩まない為に、不戦の誓いを新たにしなければなりません。

8月8日「第22回8・8平和を考える長崎集



会」が、東京や大阪など全国から40名の参加のもと長崎勤労福祉会館で開催されました。

長崎集会は講演と各地からの報告の二部構成です。第一部の講演では、福島原発被ばく労災損害賠償裁判をたたかう「あらかぶさん」(仮名)から原発被ばくの実情と労災裁判について講演頂きました。

あらかぶさんは福島原発の廃炉作業中に被ばく、白血病及び将来を悲観する中でうつ病を発症し労災認定されました。しかし、東電は下請け業者についてはコメントする立場ではないとして謝罪すら行いません。そんな使い捨てをするような扱いをしてきた東電を許すことが出来ず、損害賠償裁判を起こしたという事でした。

1時間という限られた時間での講演でしたが、実際に原発事故のよる被ばく者の生の声を聞くことが出来

大きな衝撃を受けました。続く質疑応答では、参加者から質問が相次ぎました。

続く第二部の各地からの報告では、無事に長崎まで自転車で行ってきたピースサイクルの報告を皮切りに関東、大阪、広島の間から行動報告がありました。

集会終了後は近くの居酒屋に会場を移し、懇親会を開催、より一層親睦が深まった夜でした。

翌9日は73年前原爆が投下された日です。7時半の長崎原爆朝鮮人犠牲者追悼集会の参加からこの日の行動はスタートしました。

9時から平和資料館でピースメッセージを手交したのち、爆心地公園で開催された市民集會に参加しました。

11時2分原爆投下時刻には、原水禁大会に参加した仲間も合流し、全員で黙祷をささげました。

最後は平和の思いを胸に、原爆投下中心地碑を囲んで手をつなぐ「人間の鎖」を実施、今年の平和行動を締めくくりました。



ピースサイクル長崎ルート報告

31回目となるピースサイクル長崎ルートを今年も無事走破することができました。今回のピースサイクルには首都圏や大阪など10名が参加し、7日の佐賀県唐津市から8日の長崎市までの180キロを走りました。7日早朝、玄海原発で3号、4号のプルサーマル再稼働に抗議の申し入れ。その後、伊万里を経由し佐世保まで、起伏の多い玄海路90キロを走破。

8日は、北九州のコンダラサイクリストが合流して8台のピースサイクルが大村湾沿いの長崎路を長崎目指し走りまし。ました。

今年も酷暑の中のピースサイクルとなり、熱中症状状態のまま「西の箱根」日見峠を全員が完走。

夕方からは8・8平和長崎集會に参加しピースサイクル到着のあいさつ。そして大懇親会。最終日の9日は、朝一で朝鮮人被爆者追悼式に参加し全員で献花。その後長崎市に全国からの平和メッセージを届け、爆心地公園でピースウィーク市民集會に参加し今年のピースサイクルを終了しました。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。